



校長室だより

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう！！



前代未聞の全国一斉休校措置の中、佐久市でも式の開催が危ぶまれましたが、規模を縮小し本日卒業式を行うことができました。そこで次のような話をさせていただきました。

ピンチをチャンスに変え、笑顔溢れる人生に！

例年とは全く違う状況の中、本日は、卒業生、保護者の皆様、教職員という最小限の出席者で、令和元年度卒業証書授与式を挙行することになりました。今回この様な形での卒業式になってしまったことを私自身本当に心苦しく思いますが、前代未聞の対応の中での卒業式ということで、お許しいただければと思います。

まず最初に、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。私は皆さんと中学校生活最後の1年を共に過ごしてきました。皆さんは中込中の最上級生として素敵な姿を様々な場面で見せてくれました。今年度の学友会スローガン「Let's think」によって秋桜祭をはじめとした数々の活動を成功させながら、これからの中込中の目指すべき方向を示してくれたことに、本当に感謝しています。

保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。今回例年にないこの様な形の卒業式になってしまったことをお許し下さい。ただ、子ども達の卒業を祝う気持ちは、式の長短にかかわらず全く変わらず、むしろ行く末を応援したい気持ちは強くなっています。

<裏面へ続きます>



これからの長い人生で、子ども達は今回の様な未曾有の出来事に遭遇し、迷い、戸惑い、そして何らかの決断をしながら歩いていくことが多々あると思います。子ども達をこれまで以上に、温かく見守り、支え、励ましながら、共に歩いていただければと思います。私たち教職員も卒業生の幸せを願いながら、目の前の子の可能性を伸ばすという使命を胸に、より一層努力を尽くす所存です。

さて、卒業生の皆さん、いよいよお別れのときです。今回の特別な卒業式は、心残りではあるかもしれませんが、中学校生活3年間で皆さんが培った仲間との絆や思い出は決して揺るぎません。今回味わったこの特別な経験は、皆さんのこれからの人生において、必ず何らかの財産に変わると信じています。

今まで私が皆さんにこの1年言い続けてきた言葉を最後に改めて贈ります。

「ピンチはチャンス」

人生という長いマラソンの中で出合う様々なピンチをチャンスに変え、皆さんが笑顔で活躍することを願っています。

今回の卒業式は、子ども達にとって人生の中で、色々な意味で忘れられない出来事のひとつになると思います。私自身にとっても35年の教員人生で初めての経験でした。予測出来ない困難に直面した時、仲間と共に考え話し合いながら「best」ではなくても「better」な答えを見つけ判断し行動していこうと子ども達に語りながら、今回の出来事はまさに自分自身にその問い突きつけられていると感じています。私達の生き様を胸を張って子ども達に示すためにも、この難局をなんとかしてチャンスに変える方法を模索する日々です。来年度が半月後にスタートしますが「全ては中込中学校の子どもたちの笑顔のために!」「生徒も先生も、明日も早く行きたいと思う学校づくり」の想いは揺るぎません。令和2年度も引き続きご支援・ご協力よろしくお願い致します。（文責：大西孝一）

佐久市立中込中学校

*ご意見、ご要望、お問い合わせ
などは、下記までお寄せ下さい。

TEL 0267-62-0725

Fax 0267-62-2876